

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 10 月 9 日(2024.10.9)

【公開番号】特開 2024-107438(P2024-107438A)
【公開日】令和 6 年 8 月 8 日(2024.8.8)
【年通号数】公開公報(特許)2024-148
【出願番号】特願 2024-96471(P2024-96471)
【国際特許分類】

G 0 6 Q 3 0 / 0 1 5 (2 0 2 3 . 0 1)
G 0 6 Q 3 0 / 0 2 5 1 (2 0 2 3 . 0 1)

10

【 F I 】
G 0 6 Q 3 0 / 0 1 5
G 0 6 Q 3 0 / 0 2 5 1

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 10 月 1 日(2024.10.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

利用者によって飼育されるペットに関するペット情報に含まれる当該ペットの摂取に関する摂取情報に基づいて、当該ペットが摂取した食物の熱量値を算出する算出部と、
前記熱量値と、所定の期間内に摂取する必要がある食物の総熱量の理論値であって前記ペット情報に含まれる当該ペットの属性に関する属性情報に基づく理論値との差に基づいて選択された副食に関する商品であって、前記熱量値と当該理論値との差に相当する熱量値を示す副食に関する商品の商品情報を前記利用者に提供する提供部と
を備えることを特徴とする情報処理装置。

30

【請求項 2】
前記提供部は、
前記利用者から前記ペット情報を受付けた時間に応じた商品情報を前記利用者に提供する
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】
前記提供部は、
前記ペット情報が示す前記ペットが食物を摂取した時間に応じた商品情報を前記利用者に提供する
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

40

【請求項 4】
前記提供部は、
前記熱量値が前記理論値よりも低いかに基づいて前記ペットへの給餌の要否を判定し、当該判定結果が前記ペットへの給餌を必要とする判定結果である場合は、当該ペットへ給餌するための商品として前記商品情報を前記利用者に提供する
ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 5】
前記提供部は、
前記熱量値が前記理論値以上であるかに基づいて、前記ペットに関する行為の提案を

50

示す提案情報を前記利用者にさらに提供する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記提供部は、

前記提案情報として、ペットの散歩に関する提案を前記利用者に提供する

ことを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記算出部は、

前記ペット情報に基づいて、ペットに給餌する量である給餌量を示す給餌情報を算出し

10

、
前記提供部は、

前記給餌情報に基づいて選択された前記商品情報を前記利用者に提供する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記提供部は、

前記ペット情報として、前記利用者によって所定のサービスにて投稿された投稿情報であって、前記ペットに対する給餌を示す情報を含む投稿情報に基づいて、前記利用者に対して提供される特典として、前記商品情報を提供する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 7 のうちいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 9】

20

前記提供部は、

前記投稿情報が示す投稿回数が所定の閾値以上である場合に、前記特典として、前記商品情報が示す商品よりも品質の高い商品に関する商品情報を前記利用者に提供する

ことを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記提供部は、

前記熱量値が前記理論値よりも低いかに基づいて副食の要否を判定し、当該判定結果が副食を必要とする判定結果である場合は、前記商品情報を前記利用者に提供する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 11】

30

前記提供部は、

前記熱量値が前記理論値以上である場合は、副食を減らす旨に関する通知をさらに提供する

ことを特徴とする請求項 10 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記提供部は、

前記商品情報として、主食となる商品と、副食となる商品との組合せに関する情報を前記利用者に提供する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 13】

40

コンピュータが実行する情報処理方法であって、

利用者によって飼育されるペットに関するペット情報に含まれる当該ペットの摂取に関する摂取情報に基づいて、当該ペットが摂取した食物の熱量値を算出する算出工程と、

前記熱量値と、所定の期間内に摂取する必要がある食物の総熱量の理論値であって前記ペット情報に含まれる当該ペットの属性に関する属性情報に基づく理論値との差に基づいて選択された副食に関する商品であって、前記熱量値と当該理論値との差に相当する熱量値を示す副食に関する商品の商品情報を前記利用者に提供する提供工程と

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 14】

利用者によって飼育されるペットに関するペット情報に含まれる当該ペットの摂取に関

50

する摂取情報に基づいて、当該ペットが摂取した食物の熱量値を算出する算出手順と、
前記熱量値と、所定の期間内に摂取する必要がある食物の総熱量の理論値であって前記
ペット情報に含まれる当該ペットの属性に関する属性情報に基づく理論値との差に基づい
て選択された副食に関するであって、前記熱量値と当該理論値との差に相当する熱量値を
示す副食に関する商品の商品情報を前記利用者に提供する提供手順と
をコンピュータに実行させることを特徴とする情報処理プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本願に係る情報処理装置は、利用者によって飼育されるペットに関するペット情報に含
まれる当該ペットの摂取に関する摂取情報に基づいて、当該ペットが摂取した食物の熱量
値を算出する算出部と、前記熱量値と、所定の期間内に摂取する必要がある食物の総熱量
の理論値であって前記ペット情報に含まれる当該ペットの属性に関する属性情報に基づく
理論値との差に基づいて選択された副食に関する商品であって、前記熱量値と当該理論値
との差に相当する熱量値を示す副食に関する商品の商品情報を前記利用者に提供する提供
部とを備えることを特徴とする。

10

20

30

40

50